


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01水道事業費用

項 01営業費用

目 03配水及び給水費 外 事務事業番号 01010301

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
水道施設管理システム更新事業		20,195 千円	千円	千円	千円	20,195 千円
上下水道部 水道管理課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		使用するパソコンのゼロクライアント化と既存水道施設管理システムの保障サポートが終了となることから、新たなシステムへ再構築し、業務の効率化及び高度な情報活用を図ります。				
事業の必要性		水道の各種情報管理をシステムに一元化することで業務の効率化が図られます。また、水道情報全体の見える化によって、様々な対応をスムーズに行え、市民サービスの向上につながります。				
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>本システムは地図上（GIS上）に配水管や給水管の情報を入力し、その入力情報に対して、配水管の竣工図や給排水設備申請書類などの図面情報の関連付けも行っております。また、水道料金システムとも情報共有しており、使用開始・中止等の顧客情報や量水器の交換情報等の日々変化する情報に対しても、迅速対応できるシステムになっております。今回の更新事業では、ゼロクライアントに対応した新システムの構築及び既存データの移行を行います。</p>				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	20,195 千円	担当正規職員	1,405 千円		0.2 人	
人件費	1,405 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	21,600 千円	再任用（フル）	千円		人	
		再任用（ハーフ）	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由		システムを更新することにより、より安定的に運用することが可能となります。				
事業の課題、今後の方向性等		今後も、運用管理の一元化による業務の効率化を図り、システムを有効に利用します。				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01水道事業費用

項 01営業費用

目 05業務費

事務事業番号 01010502

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
上下水道料金システム更新事業		49,779 千円	千円	千円	千円	49,779 千円
上下水道部 営業課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		新たなシステムを導入することにより、機能拡張による事務処理の迅速化・効率化を図るものです。また、上下水道部内で進めているシンククライアント化にも対応します。				
事業の必要性		旧システムは、導入から10年以上経過しており、新たな機能拡張やシンククライアント化について対応困難な状況にありました。また、使用していた周辺機器は、既に耐用年数を経過しており、部品の製造中止等により保守が不可能となる機器があったことから、新システムの導入が必要です。				
事業の内容 SDGs17の目標		<p>料金システムは、水道使用・中止受付業務、検針業務、水道料金・下水道使用料の算定及び調定業務、請求業務、収納・消込業務、滞納整理業務等の日常業務のあらゆる面で使用しています。</p> <p>本事業では、各業務の遂行に必要な不可欠な機能、事務処理の効率化・迅速化に有効である機能を有したシステムとするため、下記の内容を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パッケージシステムの導入及びカスタマイズ作業によるシステムの構築</li> <li>○新システムに対応した周辺機器の調達、設置及び設定</li> <li>○旧システムからのデータ移行</li> <li>○動作確認及び検証作業</li> </ul>				
コスト		人件費				
		職員構成		概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数
事業費 (R1年度決算額)	49,779 千円	担当正規職員		千円		人
人件費	千円	嘱託職員		千円		人
総 計	49,779 千円	再任用 (フル)		千円		人
		再任用 (ハーフ)		千円		人
		任期付職員		千円		人
		臨時職員		千円		人
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
		事業の効率性（費用対効果）	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由		事務処理の効率化・迅速化に有効である機能を有したシステムとなり、事業の有効性、効率性は一定程度あるものと評価しています。				
事業の課題、今後の方向性等		より効率的に業務を遂行できるよう、検証作業を継続的に実施していきます。				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01水道事業費用

項 01営業費用

目 06総務費

事務事業番号 01010603

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
シンクライアント導入事業		8,370 千円	千円	千円	千円	8,370 千円
上下水道部 総務課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		シンクライアントを導入することで、セキュリティの強化や職員の人事異動時の利便性の向上を図ります。				
事業の必要性		令和2年1月をもって上下水道部サーバOSのサポートが終了するため、新たなサーバの構築が必須です。全庁側で既にシンクライアントを導入していることから、上記の目的のため本事業が必要です。				
事業の内容 SDGs17の目標		各課の独自システムを管理する業務サーバと、通常業務を管理する端末サーバを新たに構築しました。また、上下水道部独自の共有ドライブを設け、複数課で大容量のデータを共有できる仕組みを作りました。				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	8,370 千円	担当正規職員	70 千円		0.01 人	
人件費	70 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	8,440 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由		本事業によるPCの廃止によって、全庁側と比べ脆弱だったセキュリティ対策が同レベルに強化されました。また、人事異動や業務運用等についても全庁側との統一を図ることができたことから、有効性、効率性が高いと考えています。				
事業の課題、今後の方向性等		全庁側がシンクライアントを導入してからも約10年間PCを使用し続けていた経緯から、本事業の運用や今後の方向性の決定については、情報推進課との連携や情報共有が最も重要だと考えています。				
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01水道事業費用

項 01営業費用

目 06総務費

事務事業番号 01010604

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
水道広報事業		6,955 千円		千円	千円	千円	6,955 千円
上下水道部 総務課							
根拠法令							
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金							
事業の目的・対象		水道広報事業の取組について、多くの市民に的確かつ迅速に情報伝達することが、市民理解の向上につながると考え、民間のノウハウを生かした民間提案制度を活用し、市と共同で新たな広報事業の展開を図っています。					
事業の必要性		水道事業について、「市民に知ってもらいたいこと」と「市民が知りたいこと」を的確に捉えた情報発信が必要となります。					
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>1 水道事業を体感する市民参加型事業</p> <p>① 市内町内会を対象とし、給水デモや給水車を使用した「応急給水体験会」を実施しました。</p> <p>② 水をテーマとした「水フォトコンテスト」を実施しました。</p> <p>③ 水道及び下水道の仕組みについて知っていただくため「上下水道フェスタ」を開催しました。</p> <p>④ 市内在住の学生を対象に、水についてディスカッションする「苫小牧水サミット」を開催しました。</p> <p>2 LINE@を用いた情報発信 大雨等緊急災害情報、とまチョップ水関連、水道凍結注意喚起等を配信しました。</p> <p>3 移動式デジタルサイネージを用いた情報発信 市内企業の食堂などにデジタルサイネージを設置し、水道及び下水道事業の取組について周知しました。</p> <p>4 水だよりを活用した事業展開 とまチョップ水モンドセレクション金賞受賞関連特集、冬の水まわり対策等を掲載し、令和元年12月に全戸配布しました。</p>					
コスト				人件費			
				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	6,955	千円	}	担当正規職員	703 千円	0.1	人
人件費	703	千円		嘱託職員	千円		人
総 計	7,658	千円		再任用 (フル)	千円		人
				再任用 (ハーフ)	千円		人
				任期付職員	千円		人
				臨時職員	千円		人
評価指標 (事業実績)		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
		事業PRイベント（とまチョップ水販売イベント含む）		回	7	-	-
		LINE@配信		回	20	-	-
		デジタルサイネージ設置		箇所	30	-	-
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
		事業の効率性（費用対効果）		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由		デジタルサイネージやLINE@を活用し、タイムリーな話題などを提供するとともに、水道事業及び下水道事業の取組について市民への周知拡大につながりました。 一方で、新たな広報手段として取り組んだ事業ですが、全体的に広報の目的の明確化やマニュアルの作成、スケジュール管理など共有化が図られていない場面も見受けられました。					
事業の課題、今後の方向性等		広報事業全体として、明確な目標設定や年間の事業計画、LINE@のマニュアルなどを作成するとともに、職員が関わる業務と受託者が関わる業務を明確化し、上下水道部全体で広報に関する共有化を図ります。 また、委託者の事業内容を精査した中で、受託者に係る事業運営のウエイトを見直し、職員の負担軽減を図ります。					
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01水道事業費用

項 01営業費用

目 06総係費 外

事務事業番号 01010605

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
財務会計システム更新事業		3,574 千円	千円	千円	千円	3,574 千円
上下水道部 総務課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		令和元年度に予定されている、シンククライアントシステム移行のため、現在使用している財務会計システムの更新を行います。				
事業の必要性		財務会計システムは、公営企業を運営するために必要なシステムであり、現行のシステムでは、令和元年度に予定されているシンククライアントシステム移行時に使用することができなくなるので必要となります。				
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>現行の財務会計システムは、シンククライアントシステムでは使用することができないため、移行時に使用することができるように財務会計システムの更新を行いました。</p>				
コスト		人件費				
事業費 (R1年度決算額)	3,574 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
人件費	70 千円	担当正規職員	70 千円		0.01 人	
総 計	3,644 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由		本事業により、シンククライアントシステム上でも円滑に財務会計システムを運用できるようになったため、事業の有効性は高いと考えます。また、当システムは公営企業を運営する上で不可欠であるため、費用に見合った効果も得られていると考えます。				
事業の課題、今後の方向性等		新しい財務会計システムをより効率的に活用できるよう、課内での情報共有を積極的に図っていきたいと考えています。				
特記事項						



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01新設工事費

事務事業番号 01010106

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
新設事業		151,952 千円	30,366 千円	108,078 千円	千円	13,508 千円
上下水道部 水道整備課						
根拠法令		水道法				
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金				
事業の目的・対象		給水区域内未給水区域の解消を行い、水道水利用率の向上を図ります。災害時応急給水拠点の配置計画に則して、緊急貯水槽を設置し、応急給水体制の充実を図ります。				
事業の必要性		給水区域内未給水地区の市民要望に対し、水道管を布設します。また、市民にとって他に代替の無いライフラインとして重要な役割を担っているため、非常時でも可能な限り給水できるよう、様々なリスクに配慮した対策を進める必要があります。				
事業の内容 SDGs17の目標   		1 配水管の新設 樽前地区、日の出町、真砂町、植苗地区に新たに水道管を布設しました。  2 緊急貯水槽の整備 常時清潔な飲料水を貯留する機能を有した、緊急貯水槽を避難所に指定されている西小学校へ設置しました。  <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>【新たに布設した水道管】</span> <span>【緊急貯水槽設置】</span> </div>				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	151,952 千円	担当正規職員	千円	人		
人件費	千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用(フル)	千円	人		
総計	151,952 千円	再任用(ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	給水普及率		%	99.96	99.94	99.94
	緊急貯水槽整備率		%	76.5	70.6	64.7
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由		水道管を新設することにより、給水区域内未給水地区を解消し、給水普及率の上昇につながることができました。 また、緊急貯水槽の整備による応急給水対策の充実は、住民不安を取り除く効果も大きく、事業の有効性と効率性は高いと評価しています。				
事業の課題、今後の方向性等		給水区域内未給水地区における市民要望については、必要に応じて水道管整備の検討を行います。 緊急貯水槽については、他の災害対策事業とのバランスに配慮しながら整備を継続し、設置した貯水槽を災害時に有効利用できるように、市民周知や職員の応急給水訓練等の取組を継続的に実施します。				
特記事項		コスト欄の事業費に人件費は含まれています。				






事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 02改良工事費

事務事業番号 01010207

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳																																														
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源																																											
改良事業		929,699 千円	126,975 千円	708,922 千円	千円	93,802 千円																																											
上下水道部 水道整備課																																																	
根拠法令		水道法																																															
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																															
事業の目的・対象		老朽化した管路は、管路内の錆などにより濁水が発生しやすくなるほか、耐震性も低く、地震被害を受けやすいため、耐震化することにより、使用者へ安定した給水が図れます。また、水道施設の耐震化を図ることで、地震被害を最小限に抑制し、災害発生時においても、継続的に配水できる水道システムを構築します。																																															
事業の必要性		水道は、市民生活や産業活動において、必要不可欠なライフラインであり、たとえ短時間の断水であってもその影響は大きいものです。 水道施設の更新や耐震化は、その施設の機能向上を目的として行われ、安定的な水の供給といったユーザーニーズに対応するために必要な事業です。																																															
事業の内容 SDGs17の目標   		1 老朽管の更新 東開町、晴海町などで老朽化が進んだ管路を新しい管路に更新しました。 2 老朽化施設の更新 幌内ポンプ場、錦岡オーシャンヒルズポンプ場などの老朽化した施設を更新しました。																																															
																																																	
				【老朽管の更新】		【老朽化施設の更新】																																											
コスト		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">人件費</th> </tr> <tr> <th>職員構成</th> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th>従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">事業費 (R1年度決算額)</td> <td>929,699 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再任用(フル)</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再任用(ハーフ)</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>臨時職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>千円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>929,699 千円</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>							人件費			職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	事業費 (R1年度決算額)	929,699 千円	担当正規職員	千円	人		嘱託職員	千円	人		再任用(フル)	千円	人		再任用(ハーフ)	千円	人		任期付職員	千円	人		臨時職員	千円	人	人件費	千円				総計	929,699 千円			
		人件費																																															
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																																													
事業費 (R1年度決算額)	929,699 千円	担当正規職員	千円	人																																													
		嘱託職員	千円	人																																													
		再任用(フル)	千円	人																																													
		再任用(ハーフ)	千円	人																																													
		任期付職員	千円	人																																													
		臨時職員	千円	人																																													
人件費	千円																																																
総計	929,699 千円																																																
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度																																											
		老朽水道管の更新率	%	87.1	85.2	82.30																																											
		水道施設の耐震化率	%	84.2	84.2	81.6																																											
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																														
		事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																														
自己評価の理由		水道水は常に安定供給することがとても重要であり、老朽管更新及び水道施設の更新は、事業の有効性・効率性ともに高いものであると評価しています。																																															
事業の課題、今後の方向性等		管路の更新には多額の費用を要し、年間の更新延長にも限りがあるため、重要な管路を優先的に更新するなど、効率的な事業実施をする必要があります。 施設の更新についても、機械及び電気設備の安定的な稼働は、給水を継続するために不可欠となっており、今後も更新計画に沿った事業展開をしていきます。																																															
特記事項		コスト欄の事業費に人件費は含まれています。																																															



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 03量水器施設費

事務事業番号 01010308

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
量水器施設事業		420,340 千円	千円	千円	千円	420,340 千円
上下水道部 水道管理課						
根拠法令	計量法及び同法施行令、苫小牧市水道事業給水条例及び同条例施行規則					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	水道使用者への料金請求時に、根拠となる使用量を計量するため、計量法で定められた期間内に水道メーターを取り替えるための工事費及びその際に使用する検定有効期間が満了となる水道メーター（以下「検満メーター」という。）と、家屋新築時に貸与する新設メーターの購入費です。					
事業の必要性	計量法に基づく検定満期内（有効期間8年）の水道メーターの取替えは、法令上、水道事業者の義務となっており、また事業運営的にも、正確な使用量の計測は必要になります。					
事業の内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>SDGs17の目標</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>1 検満メーター取替工事 (定期的なメーターの取替え)</p>  <p>【作業状況】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>2 メーター購入費 (必要なメーターの購入)</p>  <p>【購入メーター】</p> </div> </div>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	420,340 千円	担当正規職員	千円	人		
人件費	千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用 (フル)	千円	人		
総 計	420,340 千円	再任用 (ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	検満メーター取替工事		箇所	13,927	10,205	11,065
	検満メーター購入数		個	13,927	10,205	11,065
	新設メーター購入数		個	995	1,174	1,261
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	当事業は、お客様から頂く料金を正確に算定し、水道事業経営に必要な収益を得る、経営上の根幹ともいえる重要な事業であります。このため定期的な取替えは、事業の有効性などにおいて高いものであると評価しています。					
事業の課題、今後の方向性等	水道事業の経営が安定して継続できるよう、個別事業コストの管理、見直しを行ってまいります。					
特記事項	コスト欄の事業費に人件費は含まれておりません。					






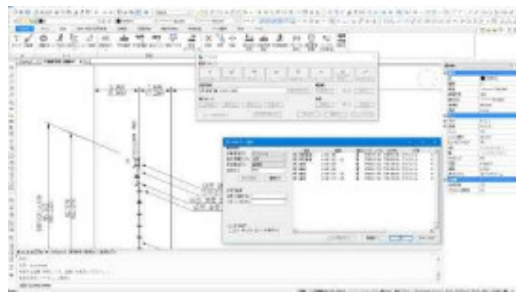
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 04事業管理費 外

事務事業番号 01010409

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳																																																	
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源																																														
設計システム更新事業		8,580 千円		千円	千円	千円	8,580 千円																																														
上下水道部 水道整備課																																																					
根拠法令																																																					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																																			
事業の目的・対象		シンククライアントシステム移行のため、現在使用している管路の設計システムを更新する事業です。																																																			
事業の必要性		水道工事に係る設計業務の効率と精度の向上を図るため、設計システムを導入していますが、シンククライアントシステムで使用するには、システムの更新を行う必要があります。今後も管路の経年化率の増加に伴う水道管更新事業は増加傾向であることから、効率的な事業の推進のため、必要となるツールです。																																																			
事業の内容 SDGs17の目標   		<ul style="list-style-type: none"> <li>設計システムの更新</li> </ul> 現行では、端末PCで使用していましたが、令和元年度に稼働したシンククライアント端末への対応のため、更新するものです。  【設計システム画面】																																																			
コスト		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">千円</th> <th colspan="4">人件費</th> </tr> <tr> <th>職員構成</th> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th colspan="2">従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (R1年度決算額)</td> <td>8,580</td> <td>担当正規職員</td> <td>千円</td> <td colspan="2">人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td colspan="2">人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>再任用(フル)</td> <td>千円</td> <td colspan="2">人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>再任用(ハーフ)</td> <td>千円</td> <td colspan="2">人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td colspan="2">人</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>8,580</td> <td>臨時職員</td> <td>千円</td> <td colspan="2">人</td> </tr> </tbody> </table>							千円	人件費				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		事業費 (R1年度決算額)	8,580	担当正規職員	千円	人		人件費		嘱託職員	千円	人				再任用(フル)	千円	人				再任用(ハーフ)	千円	人				任期付職員	千円	人		総計	8,580	臨時職員	千円	人	
	千円	人件費																																																			
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																																																	
事業費 (R1年度決算額)	8,580	担当正規職員	千円	人																																																	
人件費		嘱託職員	千円	人																																																	
		再任用(フル)	千円	人																																																	
		再任用(ハーフ)	千円	人																																																	
		任期付職員	千円	人																																																	
総計	8,580	臨時職員	千円	人																																																	
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度																																															
自己評価		事業の有効性(効果の達成状況)	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																		
		事業の効率性(費用対効果)	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																		
自己評価の理由		今後も管路の経年化率の増加に伴う水道管更新事業は増加傾向であることから、効率的な事業の推進のため、必要不可欠と判断しています。																																																			
事業の課題、今後の方向性等		老朽化に伴う更新事業が増加する一方で、給水人口の減少、節水製品や節水意識の高まりなどによって、1人当たりの使用水量が減少しており、効率的な事業の推進が必要となっています。今後も、より一層効率的な事業の推進のため、継続していく必要があります。																																																			
特記事項																																																					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 06固定資産取得費

事務事業番号 01010610

事業名		R1年度		財 源 内 訳					
担当部・課		（決算額）		国道支出金	地方債	その他	一般財源		
固定資産整備		6,787 千円		千円	千円	千円	6,787 千円		
上下水道部 水道管理課									
根拠法令									
実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金									
事業の目的・対象		浄水場の水処理及び配水された水道水の水質が正常かを判断するための水質分析機器や、水道工事等に伴う放水量を正確に計測するための機器の購入費用です。							
事業の必要性		水質分析機器は、水道法で義務付けられている「毎日試験」などの水質管理を行い、安全な水道水を供給するために必要不可欠なものです。また、電磁式水道メーターについては、水道工事等の際に正確な放水量を把握するために重要なものです。							
事業の内容 SDGs17の目標		1 総合水質計 1台 (植苗配水中継ポンプ場)		2 PH計測定器 1台 (錦多峰浄水場ろ過水)		3 電磁式水道メーター 1台			
									
		水道水の濁度や色度、消毒効果を常時測定する機器の更新		正常な水処理が行われているかを判断する重要な機器の一つを更新		水道工事等で放水量を正確に計測する機器の購入			
コスト		人件費							
				職員構成		概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)		6,787 千円		担当正規職員		千円		人	
人件費		千円		嘱託職員		千円		人	
総計		6,787 千円		再任用(フル)		千円		人	
				再任用(ハーフ)		千円		人	
				任期付職員		千円		人	
				臨時職員		千円		人	
評価指標 (事業実績)		指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度	
		機器・装置の購入			台	3	4	-	
自己評価		事業の有効性(効果の達成状況)			<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
		事業の効率性(費用対効果)			<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由		当事業は、水道水の安全性を一層高め、将来にわたり市民が安心しておいしく飲める水道水を安定的に供給するために必要なものであり、事業の有効性などにおいて高いものであると評価しています。							
事業の課題、今後の方向性等		水道水を安全かつ安定的に供給するため、今後も計画的に更新していきます。							
特記事項									